【精 神 神 経 科】

Ⅰ．プログラム責 任 者　　山寺　亘

Ⅱ．臨床研修到達目標　（４週）

１．一般目標（ＧＩＯ）

一般臨床医としてプライマリケアに必要とされる精神医学の基本的な知識、検査を下記の点に重点をおいて身につける。

1）精神医学は、人間の精神的領域を扱うので、その対象、診療、予防などの方法において身体医学と異なる面をもっていることを理解する。

2）精神医学で扱う主要な疾患の概念、原因、症状、経過、治療、予後について理解する。

3）精神疾患の治療では、薬物療法や精神療法のみならず、種々の社会療法、リハビリテーション、さらには種々の社会資源を動員した治療システムのあることを理解する。

4）一般診療科で起こるさまざまな心理社会的問題解決にも精神医学で培われた手段や方法が有用であることを理解する。

２．行動目標（ＳＢＯ）（経験目標）

1）精神機能に関連する脳機能解剖、生理を理解する。

2）精神障害者に対する理解とその対応を理解する。

3）精神神経科の基本的診察法を修得する。

(1) 患者および家族との面接を通して病歴を取ることができる。

(2) 病歴作成の過程で、その症例が主要な精神疾患あるいは状態像のどの範疇に属するものか検討することができる。

(3) 主要な心理テストの種類とその手技を修得し、また利用法を述べることができる。

(4) 脳波上の正常所見ならびに典型的なてんかん性異常所見を解読することができる。

4）一般臨床医として精神科疾患を見極め、診断ができる。

(1) 統合失調症者を診察してその臨床症状を的確に要約し、指摘できる。

(2)気分障害者を診察してその臨床症状を的確に要約し、指摘できる。

(3)痴呆性疾患を診察してその臨床症状を的確に要約し、指摘できる。

(4)不安障害を診察してその臨床症状の把握、またその代表的な臨床類型（全般性不安障害、恐怖症、強迫性障害など）についてそれぞれの臨床特徴を要約し、説明できる。

(5) 人格障害、身体表現性障害、ストレス関連障害を診察してその臨床症状を的確に要約して、指摘できる。
(6) 各種睡眠障害を診察してその臨床症状を的確に要約し、指摘できる。

5) 精神科における代表的な治療法についてその概要と適応を挙げることができる。
(1) 主要な精神科治療薬の種類と適応を挙げることができる。
(2) 主要な精神療法の種類と手技の特徴を要約し、説明できる。

３．プログラム

精神神経科外来において陪審、予審を体験し、基本的な診察、面接法を修得する。精神科リエゾン診療にも参加し指導医のもとに、面接、検査、診断、治療について学ぶ。週に２回のクルズスを設け、精神医学全般の臨床現場に即した基本的知識を習得する。
協力病院にて症例を担当し、特に症状精神病、アルコール関連疾患について学ぶ。また社会精神医学的問題や地域医療の特徴などを学ぶ。

Ⅲ．臨床研修到達目標　（選択８週）

１．一般目標（ＧＩＯ）

一般臨床医としてプライマリケアに必要とされる精神医学の基本的な知識、検査および治療について下記の点に重点をおいて身につける。

1) 人間の精神的領域の病態解明には、身体医学と同じ生物学的方法が用いられる一方で、心理学的方法もまた用いられること、いわば生物・心理・社会的視点が他の身体医学上に重要なことを理解する。
2) 精神医学は、人間の精神的領域を扱うので、その対象、診療、予防などの方法において身体医学と異なる面をもっていることを理解する。
3) 精神医学で扱う主要な疾患の概念、原因、症状、経過、治療、予後について理解する。
4) 精神疾患の治療では、薬物療法や精神療法のみならず、種々の社会療法、リハビリテーション、さらには種々の社会資源を動員した治療システムのあることを理解する。
5) 一般診療科で起こるさまざまな心理社会的問題解決にも精神医学で培われた手段や方法が有用であることを理解する。

２．行動目標（ＳＢＯ）（経験目標）

1) 精神機能に関連する脳機能解剖、生理を理解する。
2) 精神障害者に対する理解とその対応を理解する。
3) 精神神経科の基本的診察法を修得する。

(1)患者および家族との面接を通して病歴を取ることができる。
(2)病歴作成の過程で、その症例が主要な精神疾患あるいは状態像のどの範疇に属するものか見当をつけることができる。
(3)主な精神疾患の臨床評価尺度を挙げ、その手技とその判定ができる。
(4)主要な心理テストの種類とその手技を修得し、また利用法を述べることができる。
(5)脳波上の正常所見ならびに典型的なてんかん性異常所見を解読することができる。

4) 一般臨床医として精神科疾患を見極め、診断ができる。
(1)統合失調症者を診察してその臨床症状を的確に要約し、指摘できる。
(2)気分障害者を診察してその臨床症状を的確に要約し、指摘できる。
(3)痴呆性疾患の診断と鑑別が適切にできる。
(4)不安障害を診察してその臨床症状の把握、またその代表的な臨床類型（全般性不安障害、恐怖症、強迫性障害など）についてそれぞれの臨床特徴を要約し、説明できる。
(5)人格障害、身体表現性障害、ストレス関連性障害を診察してその臨床症状を的確に要約して、指摘できる。
(6) アルコール依存の臨床特徴をあげ、アルコール精神病についても類型分類ができる。
（７）各種睡眠障害の臨床特徴をあげ、睡眠時無呼吸症候群、概日リズム睡眠障害についてもその臨床特徴を的確に要約し、指摘できる。

5) 精神神経科における代表的な治療法についてその概要と適応を挙げることができる。
(1)主要な精神科治療薬の種類と適応を挙げることができる。
(2)主要な精神療法の種類と手技の特徴を要約し、説明できる。

３．プログラム

精神神経科外来において陪審、予審を体験し、基本的な診察、面接法を修得する。身体科病棟（精神科リエゾン診療）において、症例を担当し、指導医のもとに、面接、検査、診断、治療について学ぶ。週に２回のクルズスを設け、精神医学全般の臨床現場に即した基本的知識を習得する。

協力病院にて症例を担当し、急性期精神疾患のみならず、」症状精神病、アルコール関連疾患および慢性期の精神疾患についても学ぶ。またさらに社会精神医学的問題や地域医療問題にも積極的に関わりその対処法を学ぶ。指導医とともに当直勤務を経験する。